

スコアシート

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質・性能						3.2
Q-1 室内環境			0.40			3.2
1 音環境		3.4	0.15			3.4
1.1 騒音		3.0	0.40			
1 暗騒音レベル		3.0	1.00	3.0	-	
2 設備騒音対策						
1.2 遮音	遮音レベル-2	4.2	0.40			
1 開口部遮音性能		5.0	0.60	3.0	-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境		3.0	0.35			3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50			
1 室温設定		3.0	0.30	3.0	-	
2 負荷変動・過渡制御性						
3 外皮性能		3.0	0.20	3.0	-	
4 ゾーン別制御性		3.0	0.50			
5 温度・湿度制御						
6 湿度制御						
7 時間外空調						
8 監視システム						
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境		3.0	0.25			3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.30			
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	-	
2 方位別開口				3.0	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-	
3.2 グレア対策		3.0	0.30			
1 遮光部材のグレア						
2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-	
3.3 照度		3.0	0.15			
1 照度		3.0	1.00	3.0	-	
2 照度均斉度						
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-	
4 空気質環境		3.8	0.25			3.8
4.1 発生源対策		5.0	0.50			
1 化学物質汚染	内部仕上げ材はF☆☆☆☆を使用	5.0	1.00	3.0	-	
2 化学物質対策						
3 ばいじん等						
4 レジデュアル対策						
4.2 換気		3.0	0.30			
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-	
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-	
4 給気計画						
4.3 運用管理		2.0	0.20			
1 CO ₂ の監視		1.0	0.50			
2 喫煙の制御		3.0	0.50			
Q-2 サービス性能			0.30			2.8
1 機能性		2.6	0.40			2.6
1.1 機能性・使いやすさ		2.3	0.60			
1 広さ・収納性		1.0	0.33	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	3.0	-	
3 バリアフリー計画		3.0	0.33			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.40			
1 広さ感・景観		3.0	0.33	3.0	-	
2 リフレッシュスペース	外部での喫煙スペースと、自動販売機の設置	5.0	0.33			
3 内装計画		1.0	0.33			
2 耐用性・信頼性		2.9	0.31			2.9
2.1 耐震・免震		3.0	0.48			
1 耐震性		3.0	0.80			
2 免震・制振性能		3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.33			
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.29			
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.12			
3 配管・配線材の更新必要間隔	配管等の更新期間は16年以上	4.0	0.29			
4 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.29			
2.3 適切な更新						
1 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新						
2 配管・配線材の更新						
3 主要設備機器の更新						
2.4 信頼性		2.6	0.19			
1 空調・換気設備		3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3 電気設備		1.0	0.20			
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5 通信・情報設備		3.0	0.20			

3 対応性・更新性			3.1	0.29	-	-	3.1
3.1 空間のゆとり			4.0	0.31	-	-	
1 階高のゆとり		階高 3.7, 3.9m	4.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率 0.24	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性			2.5	0.38	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性			1.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペース			3.0	0.22	-	-	
Q-3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出		外構面積30%以上	4.0	0.30	-	-	4.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		アスファルト使用範囲の抑制	4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性							3.0
LR-1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.3
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.30	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		ERR 11.7%	4.0	0.30	-	-	4.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
LR-2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水		擬音・節水型便器の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム			3.0	0.67	-	-	
2 雑排水利用システム			3.0	0.33	-	-	
2 低環境負荷材			3.1	0.85	-	-	3.1
2.1 資源の再利用効率			2.3	0.35	-	-	
1 躯体材料の再利用効率			3.0	0.67	-	-	
2 非構造材料の再利用効率			1.0	0.33	-	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.04	-	-	
2.3 有害物質を含まない材料		内部仕上げ材での採用	5.0	0.08	-	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用			3.0	0.18	-	-	
2.5 部材の再利用可能性		躯体と仕上げ材が容易に分別	4.0	0.18	-	-	
2.6 フロン・ハロンの回避			3.0	0.18	-	-	
1 消火剤			3.0	0.33	-	-	
2 断熱材			3.0	0.33	-	-	
3 冷媒			3.0	0.33	-	-	
LR-3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.7
1 大気汚染防止			3.0	0.15	-	-	3.0
2 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.15	-	-	3.0
2.1 騒音			3.0	0.33	-	-	
2.2 振動			3.0	0.33	-	-	
2.3 悪臭			3.0	0.33	-	-	
3 風害、日照障害の抑制			3.0	0.15	-	-	3.0
3.1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
3.2 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
4 光害の抑制			3.0	0.10	-	-	3.0
5 温熱環境悪化の改善			2.0	0.30	-	-	2.0
6 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.15	-	-	3.0
6.1 雨水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
6.2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
6.3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
6.4 廃棄物処理負荷			3.0	0.25	-	-	

■ LR-1 用途別得点表		事務所	-	-	-	面積按分
		2569 m ²	-	-	-	総合スコア
1	建物の熱負荷抑制	3.0	-	-	-	3.0
3	設備システムの	4.0	-	-	-	4.0
	高効率化	-	-	-	-	
3.1	空調設備	3.0	-	-	-	-
3.2	換気設備	5.0	-	-	-	-
3.3	照明設備	5.0	-	-	-	-
3.4	給湯設備	3.0	-	-	-	-
3.5	昇降機設備	5.0	-	-	-	-